

糸我小学校だより

令和5年7月号 ①



夏休みが始まります!

4月から、あっという間に4ヶ月が経過しました。この4ヶ月間、子供たちが命に関わるような大きな事件・事故に巻き込まれることなく夏休みを迎えることができました。これも保護者・地域の皆様方日々の子供たちの安全・安心の学校生活実現に向けて、また、本校の教育活動の充実に向けて、ご理解・ご協力をいただいたお陰と感謝しております。ありがとうございます。

夏休みには、子供たちが地域の中で過ごすことが多くなると思います。保護者・地域の皆様方にはお手数をおかけすることもあろうかと思いますが、子供たちが楽しく安全で充実した夏休みを過ごせるよう、ご協力を賜りますようお願いいたします。



もう、ご存じですか? 学校運営協議会

「学校運営協議会」をご存じでしょうか。有田市の小・中学校には必ずあるものです。この学校運営協議会、是非、この機会に知っていただきたいと思えます。

糸我小学校の学校運営協議会は、保護者の方や地域住民の方たち10名で構成されています。この10名の方と学校代表者3名(校長、教頭、教職員代表)が、年間4、5回集まって、学校運営について話し合ってアドバイスをいただいたり、学校運営への支援・協力の輪を広げてくださったりしています。そうすることで、学校と保護者の方や地域住民の方たちとの信頼関係を深め、学校運営の改善や児童の健全育成に取り組んでくださっています。また、学校行事等の際にも子供たちや学校の様子を見に来ていただいています。

今年度、次の方々が糸我小学校の学校運営協議会委員を務めてくださっています。

【会長】 兒島 昭人 様

【副会長】 伊藤 雅秀 様 花野 仁志 様 富山 晴美 様

【委員】 上山 千幸 様 山崎 光二 様 山本 節子 様
 高崎 保 様 尾又 恵 様 吉田 悠佑 様

6月23日(金)に行われた育友会委員総会の後、育友会委員と学校運営協議会の合同協議会が行われました。今年で3回目となりますこの会は、育友会の保護者の方たちにも学校運営協議会を知ってもらうことを大きな目的として行われています。そして、育友会委員と学校運営協議会委員が「糸我の子供たちにどんな子供になってもらいたいのか」について座談会をしました。どのグループも活発に意見が交わされていました。



心肺蘇生法講習会(育友会)

6月29日(水)育友会事業である心肺蘇生法講習会を行いました。毎年、有田市消防本部の方に来ていただき、1年生の保護者の方を対象に実施しています。これは夏休みの自由遊泳で、監視当番になったとき、子供たちの命を守るように行っています。この日は育友会三役の方や育友会補導安全部の方々も来てくださり一緒に講習を受けました。講習は、心臓マッサージやAEDの使い方などについて教えていただきました。今年度、自由遊泳を実施することが育友会委員総会で決定しています。今日教えていただいた事が活用されないに越したことはありませんが、いつでも実施できるようにしっかり覚えておきたいものです。



「資源ゴミ回収作業のお手伝い」に行きました(5年生)

7月8日(土)に子どもクラブの資源ゴミ回収のお手伝いに、5年生の子供たちが行きました。前回は6年生の子供たちがお手伝いをしています。資源ゴミ回収のある日に5年生と6年生が交代で参加しています。地域の方が自動車で資源ゴミを運んでくれるので、それを子供たちは受け取り、決められた場所に運んでいきます。初めての作業にうまく動けなかった子も、慣れてくると積極的に受け取りに行き、テキパキと動けるようになってきました。子どもクラブや育成会の方など地域の方の手伝いをして、地域のことが少し理解できたようでした。



今年も、今後も、いじめの防止のために

いじめは、児童の心身の健全な成長に重大な影響を及ぼします。そして、被害者、加害者だけの問題ではなく、その周りには、はやし立てたり面白がって見ていたりする観衆、見て見ぬふりをする傍観者も存在します。いじめは、すべての児童にかかわる問題であると知らせ、当事者意識をもつようにすることが大切になります。

学校では、「いじめ防止基本方針」を策定し、職員で研修し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めています。集団で生活をするなかで、人間関係による問題が発生することがあります。それをいじめの問題にならないようにするため、お互いを認め合うあたたかい人間関係を築けるように取り組んでいます。また、道徳でもいじめを取り上げた資料を使って、授業を進めています。

また、早期発見、早期対応をするため、児童いじめアンケートを実施しています。そして、いじめと考えられる事が出てきた場合は、聞き取りをし、解消するように対応しています。

今後も、「いじめはどこにでも起こる」という認識を持って、アンテナを高くして子供達を見守っていきます。ご家庭や地域でもお気づきのことがありましたら、学校にお知らせください。



令和2年7月15日『糸我小学校だより』より

糸我小学校だより

令和5年7月号 ②



「ヒラメの放流」をしました(5年生)

6月14日(水)田鶴小学校の5年生との交流学习で、ヒラメ稚魚の放流を行いました。校区に海がない糸我小学校としては学習活動の幅が広がったと感じています。また、6月21日(水)には、事後学習として、伊藤房次氏による『命の学習』がリモートで行われました。ヒラメの稚魚を通して命の大切さについてお話くださいました。令和6年度から中学校が統合され有和中学校になります。この学習が親睦のきっかけになればと思います。



「七夕本まつり」をしました(1・2年生)

7月7日(金)1・2年生は合同で「七夕本まつり」を行いました。子供たちは、この日のために願い事を書いた短冊や色とりどりの色紙で笹を飾ってきました。当日、それぞれの学年の笹飾りを音楽室に持ってきて、七夕のお話を聞いたり、自分のたちの願い事を発表したりした。その後、自分たちでも思い思いに、七夕にまつわるお話の本や宇宙・星に関する本などを読んで楽しい時間を過ごしました。短冊に書いたみんなの願い事が叶うと良いですね。七夕の笹は、田んぼの学校校長・山崎佳彦さんがとってきてくれました。ありがとうございました。



「みかんの学習・摘果体験」をしました(3年生)

7月7日(金)3年生はみかんの学習で「摘果体験」を行いました。毎年、宮本 正弘さんの畑で摘果の体験をさせていただいています。今年も宮本さんに「1年間のみかん栽培の仕事」や「なぜ摘果が必要なのか」等、準備してくださったパネルでわかりやすく教えていただきました。その後、肥料をやったり、マルチを敷いたり、摘果したりとたくさん体験させていただきました。その中で、マルチを敷いたみかんと敷いていないみかんとを比べる実験を進めてくださっています。子供たちのみかん栽培への興味も高まり、収穫の日も楽しみです。



「キッズサポート・スクール」がありました(2・5年生)

7月10日(月)2年生と5年生に和歌山警察本部生活安全部少年課少年サポートセンターから2名の先生をお招きして「キッズサポートスクール」を実施しました。

「キッズサポートスクール」は規範意識の向上を目的として警察と学校が連携して行うもので「正しく判断し、行動できる子」の育成を目指した授業を行います。身近な問題を取り上げ、物事の善悪を考えたり、いじめは犯罪であること、決まりを守ることの大切さ、決まりを守らなかった場合の事例等をお話いただき、一人一人が「心のブレーキ」をもたないといけないことを学習しました。子供も私たち大人も「心のブレーキ」をもって、しっかりきかせられるようにしたいものです。



「歯みがき指導」を実施しました(全学年)

子どもの頃の歯と口の健康習慣が生涯の歯と口の健康を左右するとも言われています。歯や口の健康状態は自分でも観察することができ、しっかり気をつけて行えば成果も現れやすく、低学年から学習できます。しかしながら、歯と口の健康教育は、一度実施すれば課題が解決されるというものではありません。本校でも1週間に1回フッ素洗口を行い、昼食後は砂時計や鏡を使って歯みがきをしています。また、養護教諭が歯みがき指導で全学年を周り、歯と口の健康推進に努めています。

